

六ヶ所再処理工場及びMOX燃料工場の現状について

1. 再処理工場の現状について

(1) 工程

- ・アクティブ試験：平成18年3月31日開始
- ・しゅん工：平成21年8月予定

(2) 平成21年度の再処理計画

- ・平成21年度は、約160トンUの使用済燃料を再処理する計画。この結果、約0.9トンの核分裂性プルトニウムを回収する見込み。(下表参照)

| 再処理量 | 核分裂性プルトニウム回収量 |
|---|----------------------|
| <p style="text-align: center;">約160トンU</p> <p> { 北海道電力 約 14トンU 東京電力 約 61トンU 中部電力 約 16トンU 北陸電力 約 3トンU 関西電力 約 12トンU 中国電力 約 11トンU 四国電力 約 19トンU 九州電力 約 18トンU 日本原電 約 5トンU </p> | <p>約0.9トン</p> |

(四捨五入の関係で、足し算が合わない場合がある)

- ・平成20年度末において、約425トンUの使用済燃料を再処理し、約2.3トンの核分裂性プルトニウムを回収する見込み。(次ページ参照)

2. MOX燃料工場の現状について

(1) 工程

- ・しゅん工：平成24年10月予定

なお、着工およびしゅん工時期については、安全審査の状況を踏まえ検討を行う。

(2) 概要

- ・最大加工能力 130トンHM/年。(HM：MOX燃料中のプルトニウムとウランの金属成分の重量)
- ・再処理工場のウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋の南側に設置。
- ・原料MOX粉末は、再処理工場のウラン・プルトニウム混合酸化物貯蔵建屋から受け入れ。

(3) 現状

- ・平成17年4月20日に核燃料物質加工事業許可申請(平成19年2月20日、5月18日、および平成20年10月7日に補正)を行い、現在、二次審査中。

以上

(参考)

平成 18 年度～平成 20 年度における使用済み燃料の再処理量および回収される核分裂性プルトニウム量を以下に示す。

| | 再処理量 (トンU) | 核分裂性プルトニウム回収量 (トン) |
|-------------------|------------|--------------------|
| 平成 18 年度 | 約 1 4 0 | 約 0 . 7 |
| 平成 19 年度 | 約 1 8 1 | 約 1 . 1 |
| 平成 20 年度 | 約 1 0 4 | 約 0 . 5 |
| 合計 (平成 20 年度末) | 約 4 2 5 | 約 2 . 3 |